

だい かいひらかたしじりつしえんきょうぎかい 2023ねん3がつ1にち
第15回枚方市自立支援協議会（2023年3月1日）

しょうがいしゃけんりじょうやく たいにちしんさ そうかつしよけん 障害者権利条約の対日審査・総括所見について

やすだ ゆうたろう ひらかたししょうがいふくし じぎょうしゃれんらくかい かいちょう
安田 雄太郎（枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 会長）

1. しょうがいしゃけんりじょうやく 障害者権利条約について

- しょうがいしゃけんりじょうやく しょうがいしゃ じんけん きほんてきじゆう まもる こくさいてき やくそく
・ 障害者権利条約は、障害者の人権や基本的自由を守るための国際的な約束
であり、条約を批准した国にはその約束を守ることが求められています。2006年に
こくれん しょうがいしゃけんりじょうやく さいたく にほん ひじゅん
国連で障害者権利条約が採択され、日本は2014年に批准しました。
- じょうやく けんぽう かい いち ほうりつ じょうい いち じょうやく
・ 条約は憲法よりは下位に位置しますが、法律よりは上位に位置します。そのため、条約
ひじゅんこく にほん ほうりつ しょうがいしゃけんりじょうやく ないよう そくし
の批准国である日本の法律は、障害者権利条約の内容に即したものであることが
もと しょうがいしゃきほんほう かいせい しょうがいしゃそうごうしえんほう しょうがいしゃさべつ
求められています。障害者基本法の改正、障害者総合支援法や障害者差別
かいしょうほう せいりつなど じょうやく ひじゅん む と く
解消法の成立等も、条約の批准に向けて取り組まれてきました。

2. 対日審査について

- じょうやく ひじゅん くに じょうやく ないよう まも ていきてき
・ 条約には、批准した国がきちんと条約の内容を守っているのかを定期的にチェックす
る仕組みがあります。日本政府や障害者団体などが提出した報告書をもとに、国連
しょうがいしゃけんりいいんかい にほんせいふ けんせつてきたいわ たいにちしんさ
障害者権利委員会と日本政府による建設的対話（対日審査）が2022年8月に実施
されました。

3. そうかつしよけん 総括所見について

- たいにちしんさ こくれんしょうがいしゃけんりいいんかい にほん じょうやく じっしじょうきょう
・ 対日審査を経て、国連障害者権利委員会から日本における条約の実施状況に
かん ひょうか にっぽんせいふ かんこく そうかつしよけん だつしせつ
関する評価として、日本政府へ勧告（総括所見）が出されました。脱施設やインクルー
シブ教育の遅れ、せいしんびょういん ひじんどうせい ゆうせいしそう もんだい
精神科病院における非人道性をはじめ、優生思想の問題についても
してき
指摘されています。
- そうかつしよけん ほうてき こうそくりよく こくさいじんけんほうじょう そんちょう けんい
・ 総括所見は、法的な拘束力はありませんが、国際人権法上、尊重すべき権威

のある文章です。勧告は全部で93あり、その内訳は「強い要請」が12、「勧告」が81です。

- ・「I. 序論」「II. 肯定的な側面」「III. 主要分野における懸念及び勧告」「IV. フォローアップ」の4つで構成されています。

4. 枚方市で求められている課題

- ・総括所見の仮訳には「委員会は、早急な措置が求められるものとして、自立した生活及び地域社会への包容に関するパラ42、及び障害者を包容する教育（インクルーシブ教育）に関するパラ52に含まれる勧告について、締約国の注意を喚起したい。」とあります。
- ・枚方市における地域生活支援拠点事業の整備に向けた議論をはじめ、地域移行一脱施設・病院と地域生活支援及びインクルーシブ教育を推進するため、深刻化する人材不足の課題も含めて、社会資源の開発・改善が求められていると思います。